

伊達な宣伝部長・橘 典雄さんの活動
歴史をひもどくと全てがつながる！

まちの魅力発信の担い手となり、自分の活動を通して地域の魅力を発信する「伊達な宣伝部長」が、普段どのような活動をしているのかのぞいていきます。今回は橘典雄さんの活動に注目!!

はまったら、やめられない!

信達平野では、矢じりや石器がたくさん出土しました。梁川には広大な貝塚もあったと思われます。出土した地層を調べると、何万何千年前から人が住んでいた証明になるんです。まさに歴史は全てにつながっているんです。昔から周囲の大人たちに梁川の歴史を教えてもらっていたから、歴史の授業は得意でしたね。今も学び続けてますが、知らないことばかりでやめられません。

専門家が集まる

歴史を調べて仮説を立てても、個人の力では立証までできないことがもどかしいです。しかし、ありがたいことに、私の活動を知って、同じように歴史を調べている人から声をかけられます。お互いの成果を共有できたときは、とてもうれしいですよ。

今後の目標

伊達の豊かな土地を、武将たちはこぞって欲しがったんです。伊達市は、「日本一の歴史を持つ土地」でもあると思っていますので、今後も幅広く知ってもらおう活動をしていきたいですね。



研究会誌を手に、市内の歴史ある土地を教える橘さん。



自身がまとめた歴史広報紙「たちばな紙」を配布中。詳しく話を聴きたい人に説明も行います。(橘さんの連絡先) ☎ 080-9010-2936

伊達市公式 Instagram

今月の「#いいないだて」

Instagramで「#いいないだて」がついた投稿を広報担当者が確認し、今月の「ベスト・オブ・いいない!」を決定します。さて、今月の「いいない!」は?



黄金に輝く田園、い〜ない!
「すごくきれいな景色で思わず撮影。伊達市はきれいな場所がいっぱいで、四季折々で感動した場面をまた撮影したいです」と撮影者さん。雰囲気最高です!

アカウント名: @ricarica.jasmineさん

撮影場所: 梁川地域

投稿日: 9月23日

「#いいないだて」をつけて投稿しよう

皆さんが撮った、思わず「い〜ない!」と叫びたいくなる伊達の写真をお待ちしています。

伊達市公式Instagramはこちら▶



だてフォト部Instagramはこちら▶



☎ 秘書広報課広報広聴係 ☎ 575-1113

#幸せがじゅずつなぎになるリレートーク

伊達市に住んでいる人が、今話したい人と対談し、実際につながりを作っていくコーナーです。誰とどのようなことを話すのか、台本はありません。一般社団法人 tenten で転入女性を支える活動を行う西村沙織さんが見つないだてのは、聖光学院高校教師の三瓶航さん。つながりを尊重する二人が、おしゃれなスペースでトークしていきます。



さんべい 航 × 西村 沙織

三瓶航…昭和57年生まれ。聖光学院高校に16年勤務し、現在は「進学探究コース」のコース長を務める。今年の「ふくしまふるさとCM大賞」応募作品を生徒たちと作成するなど、幅広く活動する。西村沙織…昭和60年生まれ。(一社)tentenで転入女性プロジェクトを担当しながら、[ent]の店舗スタッフも務める。

(撮影場所:リノコトコバコ)

西村 早速ですが、「進学探究コース」について気になりました。探究の時間は何を勉強しているのか教えてください。

三瓶 「進学探究コース」は昨年度から学科再編でできました。生徒が自分の興味・関心のあることについて、計画を立てて進んでいく。私もわからない正解に、生徒が自分自身でたどり着くように勉強しています。西村 いろいろな準備を要したと思われませんか?

三瓶 聞いてもよろしいですか? 三瓶 ありがたいことに、学校から「自由にやってみよう」と言われたんですけど自由と孤独は表裏一体でして、孤独で突き進んでいくのが大変でした(笑)でも、西村さんを始め、いろいろな人にお会いでき、今では財産になっています。

西村 tentenの活動も、他県から来た人が参加者について、つながり作りが一番大切だと思えます。三瓶先生はどのようなつながりを作っていましたか?

三瓶 つながり作りについて三瓶 教員になる前に、営業として

会社勤めをしていた経験がやっとならなくなった。西村 脱サラして教師を志したきっかけは何ですか?

三瓶 元々、先生にはなりたかったんですよ。ただ、大学の時に同じく先生を志した人には、正直、このままでは勝てないなと思いついて、社会人経験を積んで先生になれば、違ったことを教えられるかもしれないと思って、会社員を経験させていただきました。

西村 社会経験をされている先生と話ができることは素晴らしいと思います。言葉の重みも変わってきますよね。最後になりますが、三瓶先生にとって幸せとは何ですか?

三瓶 生徒たちにも言っているんですけど、自己決定できることが幸せかなと思ってまして。自分が決めたことを突き進んでいけば、幸せになるかな。生徒たちも、大人から感じ取っていただければいいなと思います。私も楽しんでやっているので、その姿を見て、「いつも三瓶先生、笑顔だな」と感じ取ってくればありがたいですね。

次回のトーク: 佐藤紅里さん(地域おこし支援員) × 三瓶 航さん